

いいづな歴史 ふれあい館だより

第19号

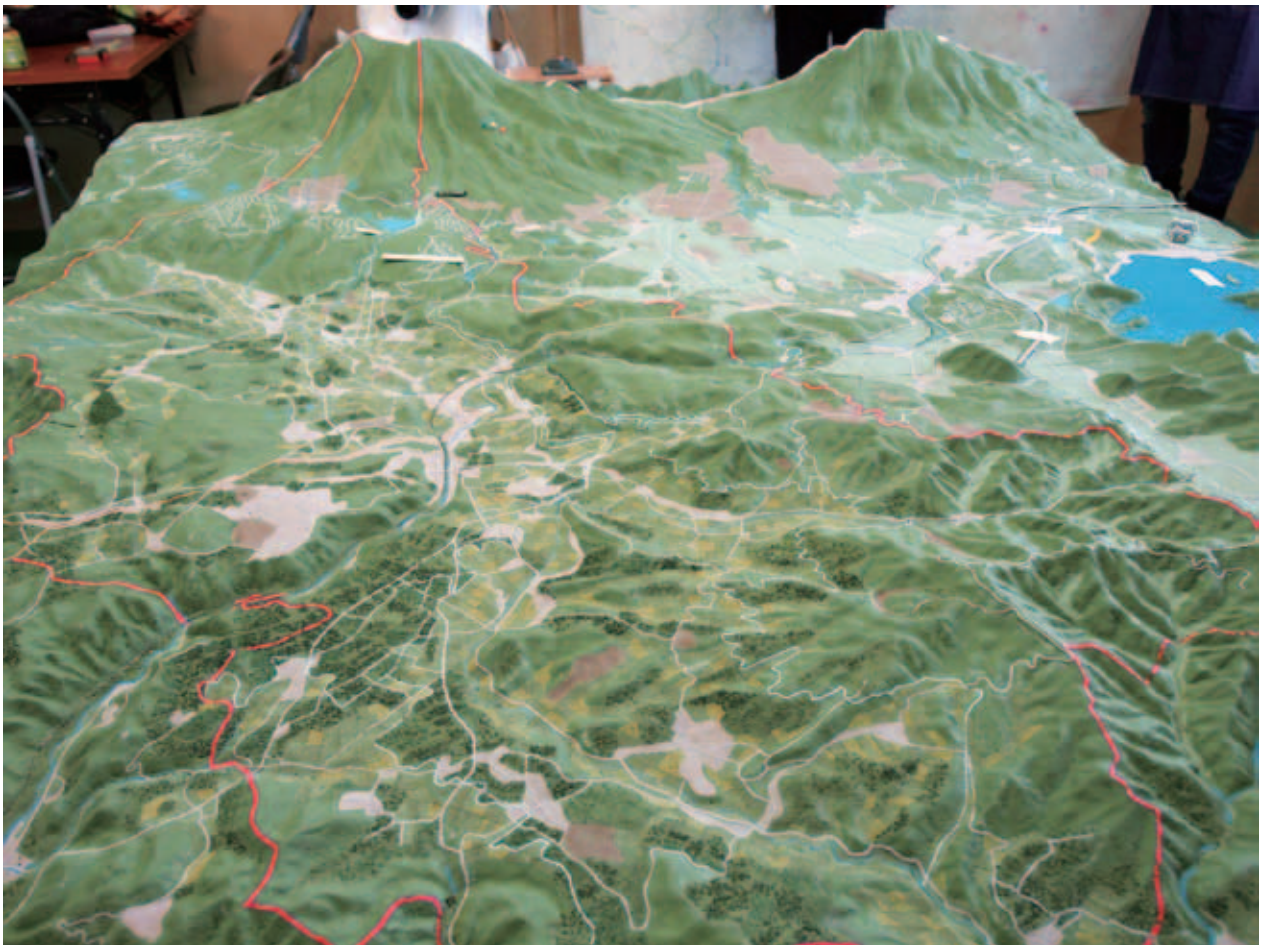
2024.3.31



◆飯綱町全域の地形模型◆

もうじき完成します!!

「鳥の目になって、飯綱町全体を空から眺めてみたい」と思いませんか？もうすぐ、それが出来るようになります。いいづな歴史ふれあい館の3階には、26年前の開館当初から旧牟礼村周辺域を対象にした地形模型がありました。しかし、飯綱町の誕生前に作製されたものなので、現在の町域の東の一部が模型の範囲に入っておらず、大変申し訳ない状況が続いていました。そこで、いよいよ町全域をカバーする地形模型を新しく作り直そうということになりました。新しい模型では、対象範囲を大きく広げ、川や用水も表現します。また地表の形だけではなく、地下の様子まで見えるようになっています。3階からの眺望とあわせて、飯綱町の姿を是非お確かめください。きっと驚きの発見があると思います。



黒姫山も野尻湖も入る飯綱町の新しい地形模型（製作途中の様子）

「あいさつ」

館長 富樫 均

令和5年秋の「飯綱町と食べごと文化」展には、関連行事を含めて、1000名を超える多くの方々を足運んでいただきました。「食べることは生きること」とも言われます。「食べごと文化」は、お金を払えば買えるというものではありません。それは、自然と歴史を土台にして、技と志をもつ人たちにより世代をこえて伝えられてきた「無形の財産」です。特別展を通して、その宝ものを、改めて実感していただくことができたのではないのでしょうか。

さて、令和6年は能登半島地震の衝撃とともに始まりました。コロナ禍、震災、戦争、気候変動など、世界には不安や危機が渦巻いています。でも、そういう時代であればこそ、ふるさとの自然と歴史と文化が、人の心の支えになってくれるものと信じます。いいづな歴史ふれあい館は開館から四半世紀が経ちました。新年度には、思い切った展示改修が予定され、歴史ふれあい館の新たな歩みが始まります。ご期待ください。

特別展「飯綱町のたべごと文化」

記念講演会

『食べごとから考える 日本』

日本の未来』

講師：中澤弥子氏

(長野県立大学教授)

・ 9月24日(日)

・ 飯綱町民会館 ホール

・ 参加者55人

講師は食文化研究がご専門で、「たべごと文化」について、飯綱町から、日本全国、そして海外の事例との比較まで広く紹介された。そして日本の伝統的な食文化は健康寿命に寄与し世界的に注目されていること、さらに飯綱町の文化継承の取り組みが優れているとの指摘があった。

参加者からは「世界の取組みを見してきた先生が飯綱町の文化を素晴らしいと言ってくれて誇らしかった」「親しんできた食文化が宝物であることが再確認できた」という声が寄せられた。



講師の中澤弥子教授

いいづな歴史講座

第1回「江戸時代の飯綱町の寺子屋について」

講師：小山丈夫

(いいづな歴史ふれあい館学芸員)

・ 2月25日(日)

・ 飯綱町民会館 元気の館

・ 参加者42人

江戸時代の庶民の初等教育の場「寺子屋」の学びについて、町内で見つかった当時の「お手本」を町公民館古文書教室で解説してわかったことなどを話題にした。

くずし字で書かれた「お手本」の筆跡を見ながら、地域の地名やお祭りなどローカルで親しみ深い記載が多いことの紹介があり、参加者からは「昔の人の勉強する意志に感心した」「先祖が何を考えていたかを知るために古文書を読めるスキルが大事だと思った」などの感想があった。



第2回「この町の魅力を科学する！」

講師：富樫 均

(いいづな歴史ふれあい館館長)

・ 3月17日(日)

・ 飯綱町民会館 教養倶楽室

・ 参加者76名

元号が令和に変わって約5年が経過した。この間、コロナ禍にも見舞われたが、博物館の将来に向けた様々な取り組みを行うこともできた。その中で講師の気づきとともに、「食べ物のおいしさ」はどこからくるのか? 「豊かな自然」の豊かさとは一体何なのか? という問いに、科学的に答えた話題であった。講演を聞いて町の魅力を再認識できたという感想がいくつも寄せられた。



文化財トピックス

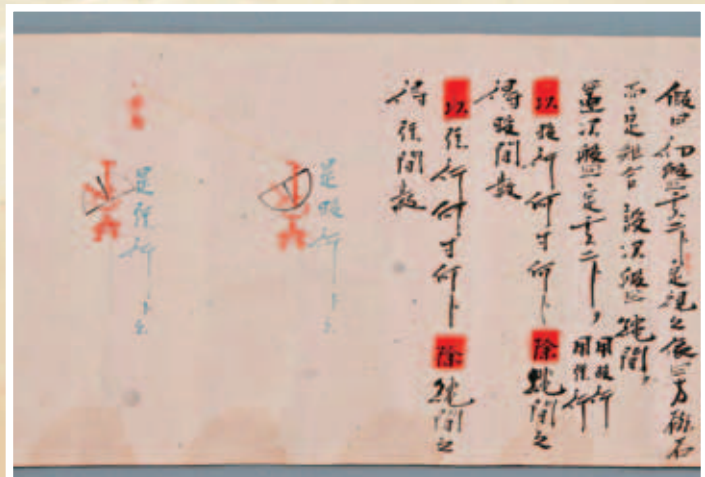
飯網町有形文化財「大方儀」が町に寄贈されました

令和5年11月、飯網町指定有形文化財「大方儀（だいほうぎ）」が所有者の外山宏治氏から飯網町に寄贈され、歴史ふれあい館で保管されることになりました。「大方儀」は地形をはかる測量器で、外山氏の先祖にあたる芋川の外山与五兵衛藩良（ばんりょう、1790?～1862年）の遺品と伝えられています。外山藩良は高度な和算（わさん、日本で独自に発展した数学）を会得した人物といわれ、その人物の遺品である「大方儀」は、江戸時代の当地における和算と測量術の広がりを示す貴重な文化財として評価されています。



寄贈された「大方儀」
(飯網町指定有形文化財)

今回の寄贈品には大方儀のほか、複数の和算の文書なども含まれています。今後の調査研究が期待されますとともに、貴重な文化財を町にご寄贈いただいた外山様にあらためて感謝申し上げます。



一緒に寄贈された古文書の一例
「大方儀」の使用法が描かれている

新刊紹介「いいづな歴史ふれあい館紀要第11号 飯網町の自然・歴史・文化」

2024年3月刊
一部 1000円

<目次>

- ・小柳義男・・・「直江津線（信越線）敷設工事と飯網町
—南一郎平（現業社）と請負業者らの記録—」
- ・黒柳博子・・・「地域に根差す食べごと文化—私の体験から—」
- ・富樫 均・小山丈夫・・・「特別展「飯網町と食べごと文化」—構想から展示まで—」
- ・明石陽平・竹下欣宏・・・「飯網町高坂に出現した大露頭の地質」
- ・富樫 均・飯網町地形模型作成プロジェクトチーム・・・「1万分の1飯網町地形模型」
- ◆ 近代化に貢献した信越線敷設に関する新知見をはじめ、本年度特別展「飯網町とたべごと文化」関連の論考などを掲載。当館窓口で販売しています（バックナンバーあり）。公民館図書室・飯網中学校図書館での閲覧・貸出しもできます。ご利用ください。

いづな歴史ふれあい館 星空お出かけ情報

★ 令和6年度天体観望会予定表

【季節の星空観望会】

毎月第2・第4土曜日(12～3月第2土曜日を除く)は天体観測室を公開しての星空観望会開催日です。
お気軽におでかけください。

4月13日(土)・27日(土)	5月11日(土)・25日(土)
6月8日(土)・22日(土)	7月13日(土)・27日(土)
8月10日(土)・24日(土)	9月14日(土)・28日(土)
10月12日(土)・26日(土)	11月9日(土)・23日(土)
3月22日(土)	

☆開催時間／19:30～21:00(5～7月)

19:00～20:30(上記以外の期間)

☆入場無料



星空観望会で撮影した月の表面

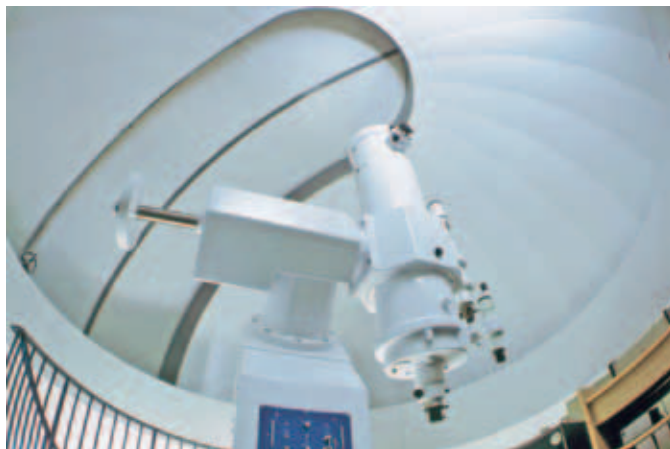
【特別観望会】

5月4日(土祝)・5日(日祝)

10:00～13:00 太陽を見よう(一般は入館料が必要、飯綱町民無料)

☆35cm反射望遠鏡をはじめ10cm望遠鏡、双眼鏡などで季節の星空を楽しめます。

☆曇天・雨天の場合は中止します。



いづな歴史ふれあい館

〒389-1211 長野県上水内郡飯綱町牟礼 1188-1 電話 026 (253) 6646 FAX 026 (253) 6649
HP アドレス : <https://www.town.iizuna.nagano.jp> (飯綱町ホームページ)
Eメール : rekifure@town.iizuna.nagano.jp